

徳島県 「蓄電池」 分野における地域産業クラスター計画案の概要

徳島県として“地域産業クラスター”の形成を推進し、国策としての“蓄電池・電源産業戦略”に貢献

1.産業領域

蓄電池関連産業

蓄電池・材料、製造設備の製造企業

- 蓄電池部品製造、蓄電池製造に必要なソフトウェア開発、リサイクル（再資源化）企業 等も含む。



徳島を含む関西圏は、国内の蓄電池製造品出荷額の約半数を占める。
徳島の順位 2022年4位→2023年3位→2024年 1 位

2.核となる区域

【県東部・南部】

蓄電池製造・材料メーカーやサプライチェーン企業、その他製造業、高等教育機関が立地する地域

【県西部】

材料メーカーやサプライチェーン企業、その他製造業が立地する地域、工業団地や工場適地等の周辺地域

県内蓄電池産業の状況

・徳島は関西・中四国の中心であり、県内に広く蓄電池産業が分布
・近隣エリアとの繋がりや優位性を活かし、産業クラスターを形成

3.目指すべき目標

KGI（最終目標）

2022年

2030年

製造品出荷額

1,603億円

3,000億円

官民設備投資額

-

(累計) 2,000億円

付加価値額

729億円

1,350億円

従業員数

4,232人

5,000人

人材育成数

-

(累計) 10,000人

4.勝ち筋と政策手段

徳島バッテリーバレイ構想

①研究・製品開発支援

- 関連製品を含む研究開発
- 周辺環境の整備

②人材育成・確保

- 関西地域との連携
- 産業界と教育機関の連携

③新事業展開・誘致促進

- サプライチェーン企業の誘致
- 県内企業調査、マッチング

④インフラ整備

- 道路・港湾・空港の整備
- 工場用地等の提供体制の整備

⑤各種支援制度

- 国支援策の有効活用
- 補助金、低利融資の拡充

⑥規制緩和

- 障壁となる分野への対応
- リサイクルシステム等の検討

徳島の勝ち筋

地域の枠組みを超えた産学官連携の下、多角的な競争力を有する製造基盤を確立し、我が国の蓄電池産業のグローバル市場の獲得に貢献



広域サプライチェーンのハブ

徳島は関西圏と中四国を繋ぐ「結節点」。エリア全体の部品供給からセル製造までの工程を面で繋ぎ、海外勢に対抗しうる製造供給ネットワークを構築。



多様な蓄電池の製造基盤構築

HEVやAI・データセンター用等、日本の技術優位性を活かした多角的な競争力を持つ蓄電池の製造基盤を構築し、日本のGXと新技術立国を支える「戦略拠点」へ。

国家課題を解決する「戦略拠点」へ



地方発の社会実装モデル

防災(BCP)や過疎地のモビリティ確保等、地域課題を蓄電池エコシステムで解決。蓄電池による生活拠点の強化をモデル化し全国へ発信。



静脈産業(リサイクル)の確立

蓄電池の回収からレア金属の再資源化までを強力に推進。海外依存を脱却し、我が国の資源自律経済と経済安全保障に直接的に貢献する。

国の戦略推進の課題

期待される効果



経済安全保障の確立
(供給網強靱化)



電力制約の打破
(高度な電力需給と再エネの主力電源化)



GXの実現
(排出削減及び産業競争力強化)